

# 第 1 回糸魚川市文化財保護審議会

## 会 議 録

作成日 平成 2 1 年 7 月 9 日

日	平成 2 1 年 7 月 9 日	時間	13 : 30 ~ 15 : 30	場所	本庁 204 会議室
件名	議題 (1) 正・副会長の選任について (公開) 報告 (1) 平成 21 年度文化財関係事業等について (資料 1) (公開) (2) 市指定文化財「小出山輪蔵および鉄眼一切経」の修繕について (資料 2) (公開) (3) 解説版・標柱等の修繕について (資料 3) (公開) (4) 史跡等の整備・修繕等について (資料 4) (公開) (5) 埋蔵文化財の調査について (資料 5) (公開) (6) 相馬御風宛書簡の刊行と糸魚川歴史民俗資料館の企画展等について (資料 6) (公開) (7) 能生白山神社宝物殿の再建計画について (公開) (8) その他 高野寫眞館が登録文化財になる見込みであることについて (公開) その他 (1) 視察研修について (公開)				
出席者	【出席者】 10 人 金子善八郎委員、利根川晃義委員、山崎正雄委員、小川喜代治委員、松野功委員、山崎英俊委員、濱田早苗委員、野紫木洋委員、西沢睦郎委員、吉田信夫委員 【欠席者】 なし 【事務局】 竹田教育長 文化振興課 村井課長、横田課長補佐、木島係長、木村主任主事、小林主任主事、高津主事				
	傍聴者定員		2 人	傍聴者数	0 人

### 会議要旨

#### 1 開会 (13 : 25)

【事務局】 教育長あいさつ

今年 5 月 20 日に就任したので、今後よろしくお願ひしたい。日頃文化財の保護等にご尽力いただき感謝。「糸魚川市の文化財」刊行、「糸魚川市の文化財展」の実施についてもお礼申し上げる。世界認定を進めるジオパークの中に、小滝川硬玉産地や長者ヶ原遺跡など、文化財もいくつか含まれており、認定後これらの文化財の管理等がおろそかにならぬよう、活用等について今後もご指導賜りたい。

## 2 委任状交付・自己紹介

### 3 議題

#### (1) 正・副会長の選任について

【委員】 金子委員に会長、利根川委員に副会長を留任願いたい。

(満場拍手で承認)

【金子会長・利根川副会長】 就任あいさつ

### 4 報告

#### (1) 平成 21 年度文化財関係事業等について

【事務局】 資料 1 について説明。

#### (2) 市指定文化財「小出山輪蔵および鉄眼一切経」の修繕について

#### (3) 解説板・標柱等の修繕について

#### (4) 史跡等の整備・修繕等について

【事務局】 資料 2, 3, 4 について説明。

あわせて、資料 3 には記載がないが、地域住民からの要請で根知の「杉之当の大スギとシナノキ」の標柱もかなり劣化しているので取替したい旨説明。

以下資料 2～4 について質疑

【委員】 資料 2 について、このタイトルだと「鉄眼一切経」を修繕したように誤解を受けるのではないかと。

【事務局】 ご指摘のとおり。しかるべき事業名を設定して今後の事業を進める。

【委員】 資料 3 について、長期の年度計画等があるのか。

【事務局】 ある。糸魚川市の実施計画に基づいて実施している。計画では、来年度でいちおうすべての整備が完了する予定。

【委員】 資料 2 について、市の補助額の割合は決まっているのか。

【事務局】 市の補助率は補助対象経費の 4 分の 1 と決まっている。

【委員】 残りの修繕費については所有者である能生地区仏教会が負担したのか。

【事務局】 そのとおり。

【委員】 「小出山出生寺」の所有者も能生地区仏教会なのか。というのも、小出山出生寺は 33 番札所になっており、朱印を求めて寺回りをする方がいる。朱印はどちらでもらえばいいのか、所有者をお聞きしたい。

【委員】 「小出山出生寺」とその中に納められている「(市指定) 木造十一面観音立像」は能生地区の個人の所有で、「小出山輪蔵および鉄眼一切経」は能生地区仏教会の所有である。朱印は今現在押しているか不明であるが、もし押すとすれば小出山出生寺の所有者である。

【委員】 資料 3 について、杉之当の大スギの標柱を取替えるとのことだが、大スギの入口の柱のことか。それとももっと手前にある小さい案内柱のことか。

【事務局】 大スギ入口の大きい木製の柱のほうである。

【委員】 今その標柱はどのような現状なのか。

【委員】 盤面が全く読めない状態で、傾いている。

【事務局】 新たに設置する標柱は地面から 2 m くらいの高さの、現在より小さめのものを予定している。

(5) 埋蔵文化財の調査について

【事務局】資料5について説明。

以下資料5について質疑

【委員】上刈長面・道保地籍とはだいたいどのあたりなのか。

【事務局】上刈3丁目、明星セメント(株)の独身寮の裏あたりから、線路を挟んで反対側あたりまでである。

【委員】川倉遺跡からの出土品は、旧石器時代のものと確認されたか。

【事務局】以前出土したものについて調査を依頼した学識経験者の方から、旧石器時代のものらしいという意見をいただいたこともあったが、その後発掘が進むにつれ、縄文前期が主体であるという見解が多数になってきた。

(6) 相馬御風宛書簡の刊行と糸魚川歴史民俗資料館の企画展等について

【事務局】資料6について説明。

【委員】質疑等なし。

(7) 能生白山神社宝物殿の再建計画について

【事務局】能生白山神社宝物殿の現状について説明。

- ・ 老朽化し、資料の保存に不適切な状況であるから、中の資料を現在能生事務所の3階議場に緊急的に避難している。
- ・ 宝物殿の再建について、現存地に整地し平成22・23年度の2ヵ年計画で、30坪のRC構造の建物にしたい旨、文化庁と県教育委員会に指導を仰いだ。
- ・ 文化庁・県教育委員会との協議の中で、現在の宝物殿の位置での再建計画は、宝物殿裏の山がヒメハルゼミの生息地として指定を受けていることもあり、じゅうぶんな配慮が必要であること、宝物殿の公開頻度によって空調設備が大きく変わってくることなど指導があった。
- ・ 現在所有者である白山神社が再建計画について調整中。

以下(7)について質疑

【委員】設計・契約については、所有者の負担となるか。また宝物殿再建委員会などの構成は必要ないか。

【事務局】設計契約について所有者負担となる。委員会構成については必要ないと考える。

【委員】文化財の保存・公開の立場から、公開における一定の広さが必要と考えるがいかかか。

【事務局】人を入れる以上、それなりの構造・設備が必要と考える。

【委員】宝物殿の建っているところは、もともと何か神社の設備があったところなのか。

【事務局】現在の宝物殿が初めて建ったものである。

【委員】現在白山神社境内は、拝殿をはじめそれ自体がバランスのとれた景観を保っている。その景観を壊さぬよう宝物殿再建の際は、統一感のあるものでしてほしい。

【委員】(ヒメハルゼミへの影響の話があったが、)ヒメハルゼミの生息に影響はないと思う。生息しているのは山頂付近のアカガシ林。

別件で、当市はなぜヤマネを指定文化財にしないのか。日本海側で指定していない

のは当市だけと思うが。

【事務局】当市で指定しないのは、すでに国の指定を受けているからである。

【委員】文化庁の依頼で、平岩から小滝あたりの山を調査したが、7.11 水害などの影響で、クモマツマキチョウはほぼ壊滅状態となっている。平成19年度にわずか1頭を確認したのみ。指定解除しなくていいのか。

【委員】クモマツマキチョウは県の指定であるが、個体指定ではなく地域指定である。

【委員】白山神社所有の指定文化財で、廃仏毀釈の「梵鐘」は宝物殿の中にあつたのか。

【事務局】あつた。現在は拝殿内に収蔵している。

【委員】前島密書の額はどうなったのか。

【委員】古い額については能生歴史民俗資料館に、新しい額については白山神社の拝殿に大事に収蔵している。

(8) その他 (旧高野寫眞館が登録を受ける見込みであることについて)

【事務局】旧高野寫眞館登録までの経緯について説明。登録文化財になるのは官報告示を待ってから。告示は8月下旬から9月初旬の予定。

【委員】「登録文化財」について説明願いたい。

【事務局】今日経済活動が非常に活発で、次々古い建物が壊され新しい建物が建っている。こうした状況の中で、指定文化財ほど評価は高くなくても、重要な建物はゆるい規制の中で保護していくという趣旨で設けられた制度。築後50年を経過した建物で、所有者と地元市町村の了承があれば登録申請できる。市内では、4件目で、先に蓮台寺の谷村家住宅主屋と土蔵、木地屋の資料館が登録を受けている。ある程度外観が保てていれば、内装は大幅な改修も認められている。ただし、改修等に対する補助金制度はない。

暫時休憩 (15:05~15:13)

以下(1)の資料1について質疑

【委員】文化財保存施設が2つあるが、市所有の文化財・資料だけを保管しているのか。

【事務局】市所有の民具と、歌外波倉庫には根知のボッカ資料の1部を保管している。

【委員】耐震強度調査を行うとあるが、どこの施設か。

【事務局】長者ヶ原考古館の木造部分を予定している。

【委員】今後市民から文化財の寄贈等あればこの2つの保存施設を利用するのか。

【事務局】その予定。

5 その他

○ 視察研修について

【事務局】2年任期の1年目に1泊2日視察研修を行うことにしており、今年はその年にあたる。前回は佐渡の民具の状態を確認したところ。今回も近県か県内で研修を予定しているが、委員の皆様から意見をいただきたい。事務局としては、合併して文化財を精査した市町村のその後を視察したい。たとえば上越市や佐渡市。

【委員】文化財の保存計画関連の先進地視察もよいのでは。

【事務局】当市でも昨年度文化財の保存・活用計画を立ち上げた。今年度は庁内関係部署で素案を作成し、来年度からきちんとしたものを策定したい。

【委員】文化財保存施設の耐震設備の先進地視察はどうか。柏崎、小千谷市、魚沼(中越地

震の被災地) など。

【事務局】事務局で行き先と時期についていくつか案を作成し、みなさんに後日ご連絡する。

6 閉会 (15 : 25)

利根川副会長閉会あいさつ